

## グローバル人材育成プログラム

木下 拓

Taku KINOSHITA

環境ソリューション工学科 3年

### 1. はじめに

今回、8月17日から9月4日にかけてアメリカはカリフォルニア州のサンフランシスコ、サンノゼで龍谷大学グローバル人材育成プログラムに参加しました。

初めの3日間はシリコンバレーにある Google 等の企業訪問、キャリアセミナーを行った。その後の2週間は現地の企業のインターンシップを体験した。

### 2. 参加志望動機

今回のグローバル人材育成プログラムに参加した理由は、海外での経験が欲しかったからです。

なぜ、海外での経験が必要なのかという将来の夢が海外で働くことだからである。そのためにも今、大学生の間に海外でなにかをし、経験値を上げる必要が私にはありました。そのような時にこのプログラムを見つけ、参加しようと思いました。このプログラムは海外に行けるだけでなく、現地でのインターンシップ体験もできるとのことで、多くの経験ができるとも思いました。

### 3. 今回の目的

今回のプログラムでの主な目的、また自分で定めた目標としては、海外で働くことがどのような感じか経験することと自分の英語がどこまで通用するか試してみることの2点でした。

海外で働くことがどんな感じか知りたい理由としては、志望動機にも前述したとおり、将来海外で働きたいので経験を積みたかったためです。

そして、英語が通用するか試す理由としては、今まで勉強してきた自分の英語がどのレベルにあるの

か知りたかったためです。

### 4. 実習内容

今回、お世話になった実習先は Santa Clara にある The Way Auto Care という自動車の整備、修理会社です。作業内容は工場の掃除、洗車やタイヤ交換、部品交換の見学などをさせていただきました。

2週間働かせていただいた作業内訳としては、1週目が清掃作業、洗車、車内の清掃等で、2週目がエンジン交換、オイル交換等の専門技術の見学であった。

洗車ははじめに高圧洗浄機で豪快に汚れを落とすと同時に車を濡らし、その後車用洗剤をつけたモップで丁寧に車全体を泡いっぱい状態にした。そしてもう一度高圧洗浄機を使って泡を落とすという作業であった。ホイールの汚れを落とす作業も教えてもらった。なにより楽しかったのが従業員の方との会話であった。

2週目は専門技術の見学、補助作業を行った。間近で見るエンジンの大きさ、迫力には驚いた。

エンジン交換作業の他にもサスペンション交換作業やボディパーツの交換作業の補助等を行った。どの作業も初めてする作業なので楽しく、車の仕組みなど興味深いことばかりであった。また、従業員の方が親切に部品の説明をして下さったことで多くの知識を得ることが出来た。

### 5. 実習を終えて

まず、第一に貴重な経験が出来たと思います。従業員の方とのコミュニケーションや、複雑な作業内容などの困難な事がたくさんありましたが、それ以上に学ぶことが多く、良い機会になりました。それに、身近に車の整備を見る機会が無いので、細部まで見させてもらった上に説明までして下さり、とても勉強になりました。

2週間働いたことで見つかった自分の課題としては、英語の会話力をもっと向上しなければいけないと痛感しました。なぜかという、自分の思ってい

ることをきちんと伝えるのにとっても苦労したためである。例えば、説明をしてもらった際に、話していることを理解は出来たのだが、そこから詳しく、掘り下げていく質問をすることが難しかった。また、コミュニケーションの大切さを実感したことにより、英語力を向上しなければならないと思いました。実際に現場で働いていて、従業員の方たちももっと親しくなりたいと思いました。そのためには会話することが重要で、親しくなることで相手の意志を汲み取りやすくなり、作業の効率化も図れると思いました。これらを可能にするには、流暢に言葉を話せることが不可欠だと考えられ、海外で働くには、私自身の英語力の向上が必要だと思いました。もう1つ見つかった課題は、もっと積極性、自己主張を強くすべきだということである。こう思うに至った理由としては、実習1週目の作業がほとんど掃除や車内外の清掃であったために、2週目は何かほかの違う作業をさせてほしいと社長に自分の意志を伝え、社長がそれを許可して下さったからである。こうして、清掃作業から見学、体験をさせてもらえるようになった。このようなことがあり、自分の意志を伝えることは社会で働く上でとても大事なことなのだなど実感しました。

## 6. ホームステイ

今回のグローバル人材育成プログラムの実習期間中、ホームステイ先として Johnson さん一家にホームステイさせていただきました。とても暖かく出迎えてくださりとても楽しい思い出を作ってくれました。

例えば、私が自然を満喫したいというと、トレイルウォーキングやビーチに連れて行ってくださ

た。

さらに、2週間の間、毎朝のモーニング、毎晩のディナーもとても美味しく、居心地の良いサポートをして下さったことには感謝の気持ちでいっぱいです。

ホストファミリーの方との1番の思い出は、Johnson 家のお母さんとの何気ない会話です。日本語を話すことができるお母さんとお話ししていたときにいただいたアドバイスが私にとってとても響きました。そのアドバイスとは、周りが慣れない英語ばかりの環境で力んで、構えてコミュニケーションを取ろうとしていた私に対して「完璧に英語を話す必要なんてない」と言ってくれたことです。お母さんからしたら些細な一言かもしれないですが、私にはとてもありがたいお言葉でした。次の日からは、先日までよりも会話の際にリラックスして実習先で従業員の方コミュニケーションを取ることが出来ました。

## 7. これからの抱負

まず、今回のグローバル人材育成プログラムに参加することができて本当に良かったです。自分にとって有意義で多くのことを学べることが出来ました。当初の目的であった海外で働くことがどのようなかを経験することもできましたし、自分の英語の課題、改善点も見つけることが出来ました。自分が考える海外で働くために必要なことは、より優れた人材になることだと思いました。そのためには、キャリアセミナーで聞いたお話の通り、自分の強みを見つけてそれを磨くことが大事だと思いました。今回の経験をこれからの人生で活かせるように頑張りたいと思う。